

とみや の 家計簿

平成23年度 一般会計予算（6月補正後） 125億3,579万円

まちづくりの基本理念である「幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷」の実現へ向けて、自立した5万人都市と町民の皆さんが主役となるまちづくりを進めるため、学校教育、子育て支援、高齢者・障害者福祉、健康、防災、交通安全、防犯、道路整備、産業振興などの各施策を展開します。

予算の基礎知識

Q 予算ってなんだろう？

A 1年度（4月から翌年3月）に町へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を計算し、費用を見積もります。町長が予算案をつくり、町議会の審議と議決によって成立します。

Q 一度決めた予算は、変えないの？

A 変えられます。補正予算といいます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合等に行います。

用語解説

●義務的経費

人件費、扶助費、公債費に係る経費。義務的経費の割合が小さいほど、自由に使えるお金が多く、健全な財政運営ができます。

●物件費

賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃借料などの経費。

●投資的経費

投資的経費は資本形成のため将来に残すものとして使ったお金で、普通建設事業費、災害復旧事業費に係る経費などです。財政に余裕があると、いろいろな事業を行うことができます。

●補助費等

各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費。

●繰出金

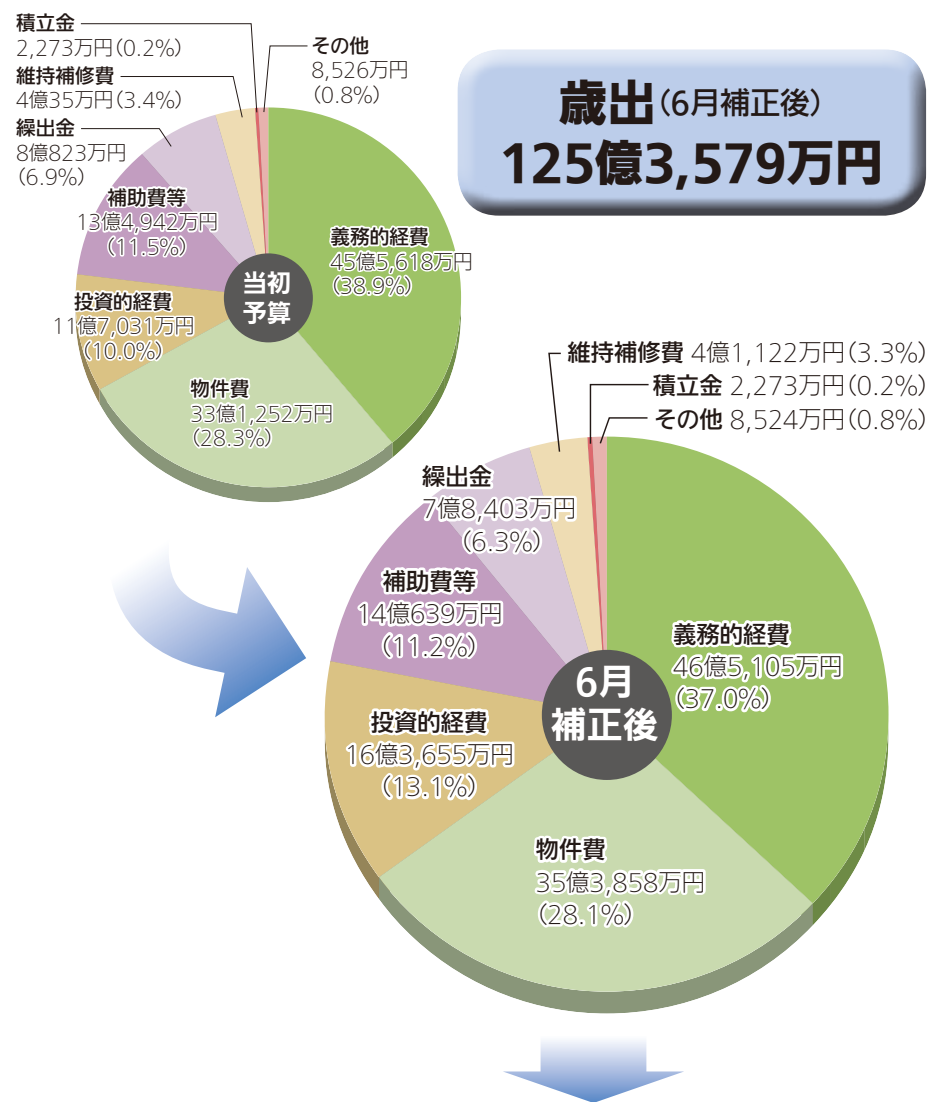
一般会計と特別会計、特別会計相互間で支出される経費。

●維持補修費

町が管理する道路や学校などの施設の維持や修繕に係る経費。

●積立金

基金へ積立てる経費。



家庭の年間支出を676万4千円と仮定すると

年間支出：676万4千円

- ・生活費（人件費、物件費、予備費等）…………… 308万6千円
- ・家や車の修理代（普通建設事業費、維持補修費）…………… 110万5千円
- ・子どもの学費や医療費（扶助費、補助費等）… 225万1千円
- ・ローン返済（公債費）…………… 31万円
- ・貯金（基金）…………… 1万2千円

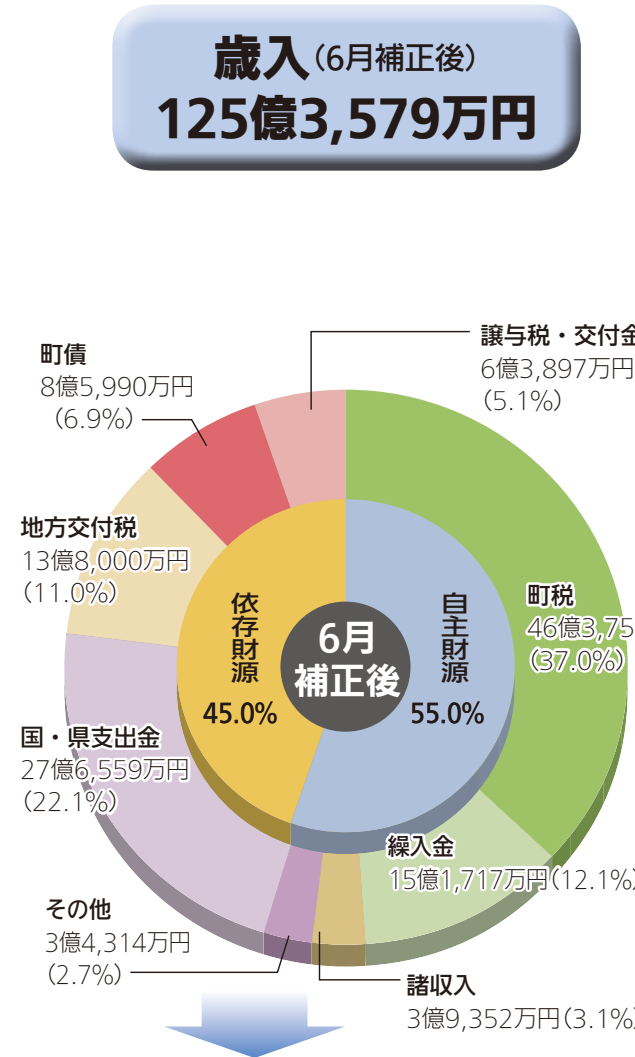
※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入676万4千円に合わせたもの。

▶自主財源(55.0%) 68億9,134万円

地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源のこと。代表的なものは町税で、その他に諸収入、使用料・手数料、寄附金、繰越金などがあります。地方財政の自主性と安定性を確保する上では、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

▶依存財源(45.0%) 56億4,445万円

自主的に収入できる自主財源に対し、国・県の決定や割り当てに基づいて収入するものをいいます。国・県支出金のほか、譲与税、利子割交付金等の各種交付金、町債が該当します。



家庭の年間収入を676万4千円と仮定すると

年間収入：676万4千円

- ・給料収入（町税）…………… 250万3千円
- ・パート収入（その他）…………… 74万2千円
- ・親からの援助（地方交付税、国・県支出金）…………… 223万7千円
- ・銀行からの借金（町債）…………… 46万4千円
- ・貯金から（繰入金）…………… 81万8千円

※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入676万4千円に合わせたもの。

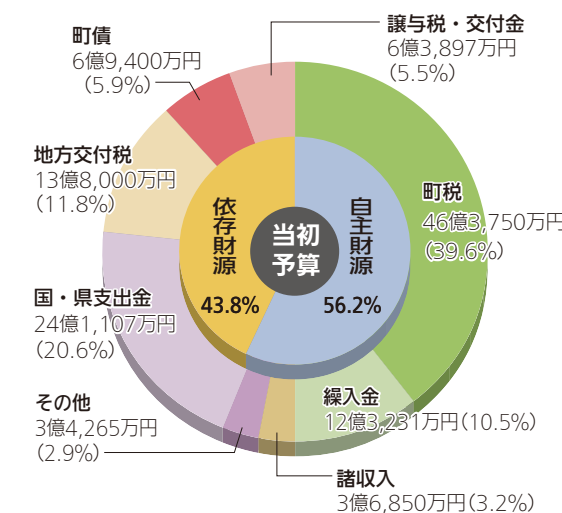
特集

平成23年度

まちの予算と仕事

未来へ、新とみや・躍動

固財政課 財務担当 (☎358-0619)



用語解説

●町税

皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。

●地方交付税

全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。

●国・県支出金

国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

●町債

町が銀行等から借り入れるお金です。学校など将来にわたり利用する施設は、世代間負担の公平性確保の観点から、町債を発行して事業費に充てています。

●繰入金

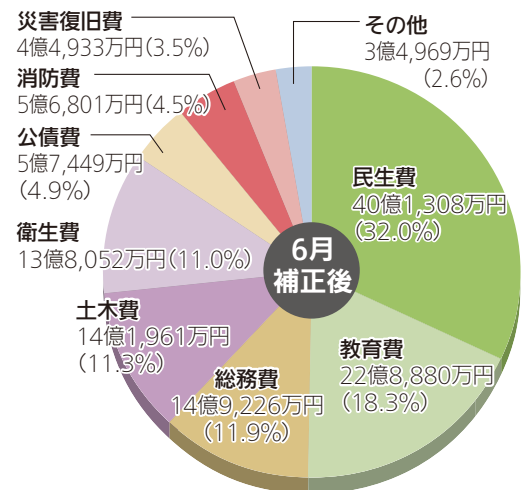
歳入の不足を補うために、基金（貯金）や特別会計から繰り入れるお金です。

お金の の 使いみち

平成23年度の6月補正後の予算は125億3,579万円（当初予算は117億500万円）です。乳幼児医療費助成の充実、町独自で震災復旧支援制度の実施をするなど、安全・安心、教育、福祉、町の活性化などの分野でさまざまな事業を展開します。

平成23年度 一般会計の歳出額（6月補正後）

民生費	40億1,308万円	子どもや高齢者、障害者などの福祉のために
教育費	22億8,880万円	幼稚園や小・中学校などの教育と文化・スポーツのために
総務費	14億9,226万円	交通安全や防犯、町民バスの運行のために
土木費	14億1,961万円	道路や公園など、まちづくりの基盤整備のために
衛生費	13億8,052万円	皆さんの健康やより良い生活環境のために
公債費	5億7,449万円	町が借り入れしている借金の返済のために
消防費	5億6,801万円	地域の防災や消防団の活動のために
災害復旧費	4億4,933万円	東日本大震災における復旧・復興のために
その他	3億4,969万円	産業の発展や議会の活動のために



特別会計と水道事業会計

特別会計とは、町が行う事業の中で、特定の歳入を充てて特定の目的の事業を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。

各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めてまいります。

特別会計の予算

特別会計名	6月補正後予算額	主な内容
国民健康保険	33億8,057万円	国保医療費、特定健康診断など
介護保険	15億5,298万円	介護サービス給付費、介護予防事業など
後期高齢者医療	1億9,387万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など
下水道事業	10億4,172万円	公共下水道の整備工事など

水道事業会計の予算

区 分	6月補正後予算額
収益的収支	収入 10億4,518万円
	支出 11億2,664万円
資本的収支	収入 1万円
	支出 1億2,971万円

収益的収支…収入は水道料金収入が主で、支出は職員給与や固定資産の減価償却などです。

資本的収支…支出は施設の整備・拡充などの資産取得の経費です。

平成23年度に実施する

まちの主な仕事

「富谷町総合計画」の3つの将来像に沿って、平成23年度に実施する主な仕事を紹介します。

※東日本大震災に伴い、一部ハード事業の予算執行を見合わせています。

新：新規事業

拡：拡大事業



将来像 1

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

子育て支援課

拡 乳幼児医療費助成事業…………… 1億5,640万円
乳幼児医療費助成制度の対象範囲を拡大し、「子ども医療費助成」に名称を変更して実施します。なお、対象は入院を中学3年生まで、通院を小学3年生までとし、医療費を全額助成します。

新 保育ママ事業…………… 965万円
保育者の自宅で保育する家庭的保育事業を、平成23年度から実施します。

拡 認可外保育所運営費補助事業…………… 2,298万円
認可外保育所への運営費補助です。また認可外保育所へ入所する世帯へ保育料の一部を助成します。

新 地域子育て支援事業…………… 616万円
新たに西成田コミュニティセンターに子育てサロンを開所し、子育て支援の充実に努めます。

拡 子育て支援事業…………… 2,204万円
新生児訪問・乳幼児健診や離乳食教室の開催、子育て情報誌の発行など、子育て家庭を支援します。

拡 妊婦支援事業…………… 6,520万円
妊婦健診・母親教室の開催、母子健康手帳交付時の相談事業などにより、妊婦への支援を図ります。

拡 感染症予防事業…………… 1億3,439万円
ポリオやBCGなどの予防接種を実施します。

あったかまちづくり推進課

拡 十三夜 魂のふるさとまつり運営事業…………… 950万円
5回目を迎える十三夜 魂のふるさとまつりは、ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ町民総参加のまつりとして開催し、町の活性化と町民のあったかい交流を図ります。



拡 町民体育祭事業…………… 326万円
44行政区による町民体育祭を開催します。

新 ねんりんピック準備事業…………… 134万円
平成24年に開催されるねんりんピック宮城・仙台大会に向け、準備を進めます。

生涯学習課

拡 高齢者教育事業…………… 243万円
豊寿大学、世代間交流事業等を開催し、地域におけるコミュニティ活動、世代間の交流活動を推進します。

拡 協働教育推進事業…………… 367万円
学校支援地域本部を中学校区5地区に設置し、地域と学校をつなぐ取り組みを実施します。

拡 マーチングフェスティバル運営事業…………… 250万円
小学校7校の金管バンド、とみやマーチングエコーズ、町外からのマーチングバンドが参加して開催します。



長寿福祉課

拡 敬老祝い事業…………… 4,775万円
敬老祝いの金、贈呈と地域が行う「あったか・ほっとな地域づくり事業」へ助成します。



拡 高齢者在宅支援事業…………… 1,822万円
緊急通報システム事業、家族介護用品支給事業などを実施し、高齢者やその家族を支援します。

拡 高齢者生きがい教室事業…………… 221万円
高齢者の健康保持や仲間づくり、生きがいづくり、介護予防のための各種教室を開催します。

将来像 2 豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまちづくり

企業誘致による新たな就業の場の提供

地域資源を活かした魅力の向上

“居住の場”として選択され続けるための環境づくり

安心して生活できる環境づくり

産業振興課

拡 企業誘致事業…………… 168万円
事業所の立地を促進し、町の産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

拡 労働雇用対策事業…………… 1,499万円
高齢者の就業機会拡充のため、シルバー人材センターへ補助金を交付し、運営を支援します。

拡 中小企業制度融資事業…………… 2,587万円
中小企業振興資金融資や小規模企業小口資金融資をあっせんし、中小企業の経営安定を図ります。

町民生活課

新 ごみ集積所整備事業…………… 749万円
修繕や改修等を行い、衛生的で利便性の高いごみ集積所の整備支援を図ります。

拡 リサイクル推進事業…………… 1,227万円
びんや容器包装プラスチックなどを適正にリサイクル処理します。

都市整備課

拡 町営宮ノ沢住宅建替事業…………… 7,933万円
老朽化した町営宮ノ沢住宅の建替工事などを行います。

拡 富谷町社会福祉協議会補助事業…………… 1,732万円
福祉活動を展開する富谷町社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付しています。

拡 心身障害者医療費助成事業…………… 5,091万円
心身障害者の経済的負担軽減と福祉の増進を図るため、医療費を助成します。

拡 地域生活支援事業…………… 1,789万円
相談支援事業や日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などにより、障害者が自立した生活を営めるよう支援します。

拡 地域活動支援センター運営事業…………… 1,676万円
在宅の身体・知的・精神障害者が、日常生活動作の訓練や作業、地域社会との交流を通じて、自立した日常生活や社会生活を営めるように努めます。

拡 レクリエーション農園支援事業…………… 113万円
休耕田の有効活用として、レクリエーション農園を整備し、都市と農村との交流を図ります。

緊急雇用創出事業(重点分野雇用創出事業：震災対応事業)
国の第一次補正予算の成立に伴い宮城県から10,244万円が配分されました。
富谷町では「震災に係る新規事業」を全庁的に検討し、13課20事業で52名を雇用する計画を県に提出しています。

拡 一般廃棄物収集運搬処理事業…………… 1億6,739万円
生活ごみ等の一般廃棄物を収集・運搬します。

拡 一般廃棄物処理(仙台市委託分)事業… 1億7,818万円
生活ごみ等の一般廃棄物の処理は仙台市へ委託しています。(仙台市と共同建設した仙台松森工場で処理されています。)

経営企画課

拡 町民バス運営事業…………… 2,631万円
町公共施設を結ぶ町民バスを適正に運営します。70歳以上の方や障害者の方、65歳以上で運転免許証を返納した方などは、運賃を無料としています。

学校教育課

新 学校給食センター整備事業…………… 5,855万円
役場庁舎東側に建設用地を造成し、小・中学校分の7,000食規模の新給食センターを新築します。
※平成22年度からの継続事業です。



拡 町立小学校運営・維持管理事業…………… 1億7,440万円
小学校7校に配置している特別教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。平成23年度から特別教育支援員を各校2名に増員します。

拡 町立小学校図書推進事業…………… 1,921万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。

拡 奨学金貸付事業…………… 2,820万円
経済的な理由で修学が困難な富谷町出身の学生へ奨学金を貸し付けし、修学を支援します。

拡 幼稚園就園奨励費補助事業…………… 8,269万円
幼稚園の入園料および保育料等を助成し、子育て家庭を支援します。

拡 とみや子どもまつり事業…………… 300万円
未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、とみや子どもまつりを開催します。

健康増進課

拡 住民検診事業…………… 1億8,681万円
健幸30や各がん検診等を適正に行い、健康管理を促進します。また、平成23年度より、前立腺がん検診を追加して実施します。

拡 感染症予防事業…………… 9,392万円
感染症疾病の予防、公衆衛生の面からインフルエンザ、子宮頸がん、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌の各種予防接種を実施します。

拡 国民健康保険特定健康診査等事業・疾病予防事業
……………5,653万円
富谷町国民健康保険加入の方を対象に、特定健康診査や保健指導の実施により、生活習慣病の予防や改善を図り、疾病の早期発見・早期治療・健康保持増進を支援します。

拡 町立中学校運営・維持管理事業…………… 1億1,750万円
中学校5校に配置している特別教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。平成23年度は特別教育指導員を各学校に応じて増員します。

拡 町立中学校図書推進事業…………… 1,591万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。平成23年度からは、図書管理システムを導入し、小中学校との連携を強化して、さらなる読書活動を展開します。



新 東向陽台中学校校舎増築事業…………… 663万円
生徒数の著しい増加に対応し、安全で安心な教育環境の整備を図ります。



拡 健康づくり事業…………… 260万円
健康づくりの意識向上を図るため、健幸セミナーや「さあ！歩効果ウォーキング大会」など、運動機能・体力向上となる運動教室等を実施します。



総務課

- 拡 防災用備蓄物品等整備事業**…………… 3,119万円
防災活動に必要な資機材や水・食料などの生活物資等を適正に整備・管理します。
- 拡 災害対策総務事務**…………… 577万円
自主防災組織への補助など、災害発生時に迅速に対応できるよう体制整備を図ります。
- 拡 消防団設置・運営事業**…………… 1,630万円
消防団員の確保・訓練・育成等により、富谷町消防団を適正に運営します。

- 拡 交通安全指導員設置・運営事業**…………… 291万円
交通安全指導員の確保と交通安全知識の習得および技術の向上を図ります。

- 拡 交通安全啓発・教育事業**…………… 206万円
交通安全運動を実施するなど、交通安全の意識啓発を図り、交通事故のない明るいまちづくりを進めます。



将来像 3

町民と町が直接つながる あったかいまちづくり

住民との協働による
まちづくり

効果的・効率的な
行政運営



経営企画課

- 拡 行政情報紙発行事業**…………… 1,875万円
広報とみや、町勢要覧などを発行し、町の施策に関する情報などを発信します。
- 拡 地域情報化推進事業**…………… 98万円
町公式ホームページを適正に運営・管理します。

財政課

- 拡 財政運営事務**…………… 331万円
計画的・効果的な財源配分を行い、効率的な財政運営を図ります。

総務課

- 拡 自治振興事業**…………… 1,466万円
地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し活動を支援します。

生涯学習課

- 拡 西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業**
…………… 3,229万円
全町民の憩いと交流の場、コミュニティを育む学習施設として運営します。

震災関連費

東日本大震災に伴う町道や公共施設の災害関連費は、平成22年度3月専決補正予算に緊急応急分を計上し、平成23年に繰り越しています。6月現在、おおむね7割執行している状況です。

■災害関連予算額

区分	3月専決予算額
災害救助費	1億1,830万円
災害対策費	1,356万円
災害復旧費	4億2,634万円
予備費	2億円
合 計	7億5,820万円

■主な予算概要

災害救助費：国の災害救助法に基づく被災者支援の経費
災害弔慰金、災害障害見舞金…………… 7,500万円

災害対策費：災害救助費、災害復旧費以外で災害対策、被害軽減に要した経費

震災ごみ回収業務…………… 1,342万円

災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧に要する経費で、施設の原型復旧に関する経費

町道河川等災害復旧費工事…………… 8,581万円

教育施設等災害復旧費工事…………… 2億2,650万円

その他公共施設災害復旧費工事…………… 4,655万円